

チャレンジ問題十二月(師走)

読むこと(文章と図とを関係付けて読む)

森山さんは、物事を決めることに興味をもち、次の「だれが選ぶ どれを選ぶ」という【文章】を読みました。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【文章】

の内容は、あとの問いと関係があります。

だれが選ぶ どれを選ぶ

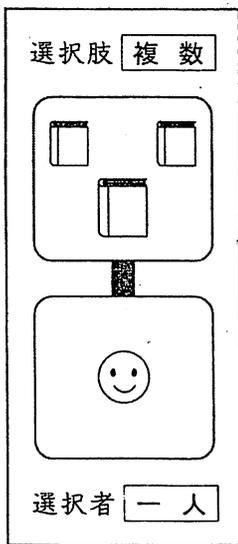
学校生活においては、学級の係や児童会の委員を決めるなど、みんなで物事を決めることがあります。物事を決めるといふことは、どういふことなのでしょう。

何かを決めるときには、「選択者」と「選択肢」があります。「選択者」とは、選ぶ人のことをいいます。また、選ばれるものや人のことを、「選択肢」といいます。

それでは、「選択者」と「選択肢」の関係を、具体的な場面で考えてみましょう。学校では、学校図書館にあるたくさんの中から、目的に応じて本を選ぶことがあります。この場合、「選択者」は学校のみなさん、「選択肢」は学校図書館にあるたくさんのお本です。

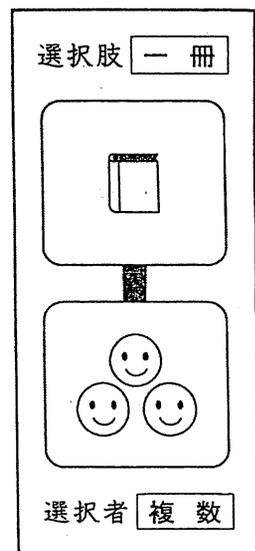
〈図1〉は、「選択者」が一人で、「選択肢」が複数の場合です。例えば、休み時間に一人で学校図書館に行って、一冊の本を借りることにしました。すると、「選択肢」のあなたは、「選択肢」のたくさんのお本の中から、好きな本を選ぶことができます。このような場面では、「選択者」はあなた一人なので、どの本を選ぶかとなやむことはあっても、最後は、自分の判断で本を決めることができます。

〈図1〉



〈図2〉は、「選択者」が複数で、「選択肢」が一つの場合です。例えば、学校図書館のたくさんの中での人気のある一冊の本に何人かの人が集中するような場面です。このような場面では、だれがその本を借りることにするか、折り合いをつけて決めていくことが大切です。たがいにゆずり合って解決することを、「折り合い」といいます。

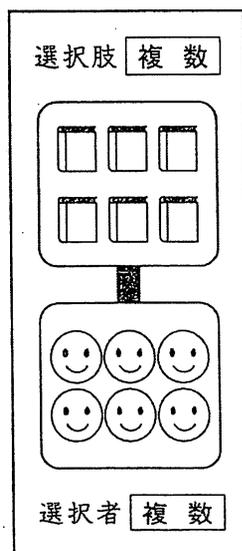
〈図2〉



最後に、〈図3〉について考えてみましょう。

〈図3〉は、「選択者」が複数で、「選択肢」も複数の場合です。例えば、学級全員で学校図書館に行き、感想文を書く本をそれぞれ一冊選ぶような場面です。このような場面では、「選択者」の一人一人が一冊ずつ本を借りることができず、選びたい本の希望が重なることもあります。

〈図3〉



〈図3〉は、〈図1〉と〈図2〉とはちがう場面のように見えますが、実は〈図1〉と〈図2〉の両方がふくまれているといえます。〈図3〉の場合、まず〈図1〉のように、「選択者」は自分の判断で自由に一冊の本を選ぶとうとします。その中で、複数の人が同じ本を選んだ場合には、〈図2〉のようにだれが借りるのかを決めることとなります。

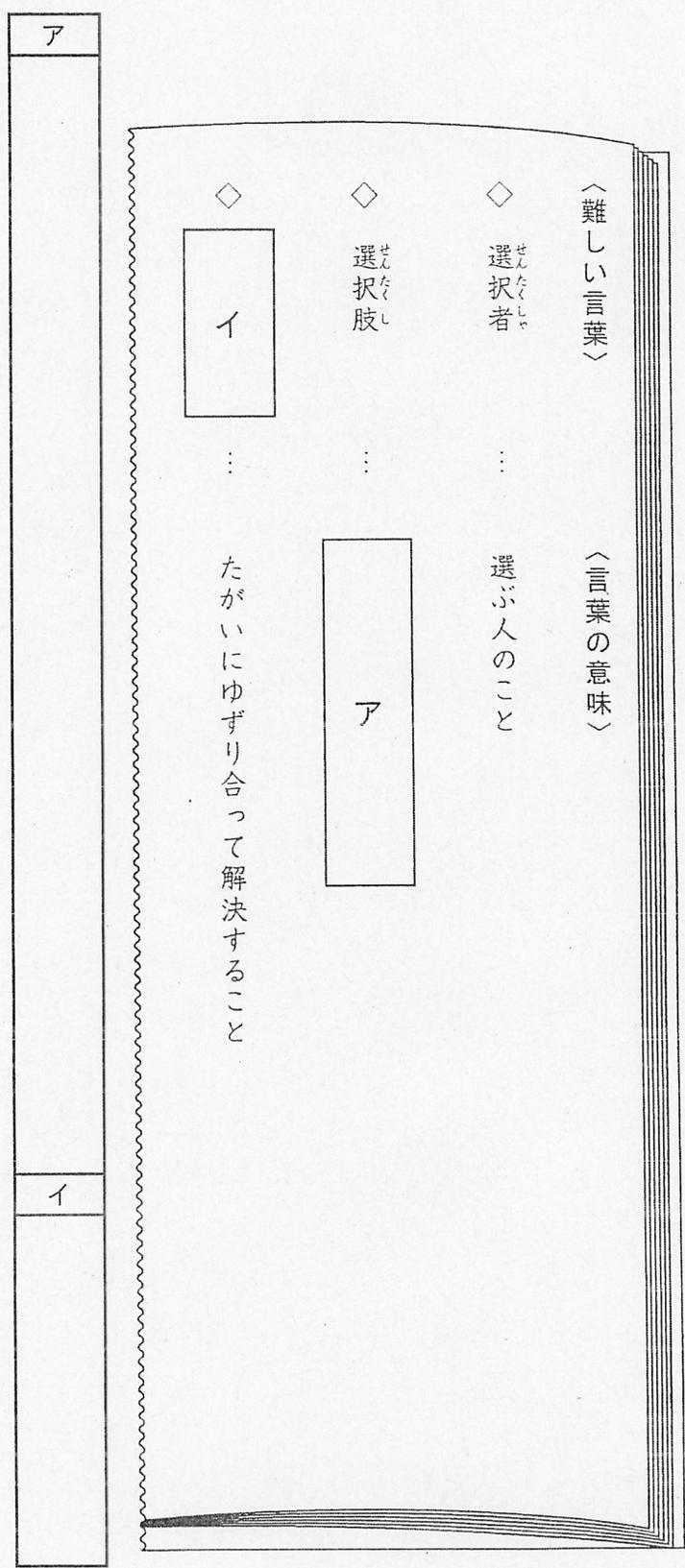
これら三つの図をもとに考えると、物事を決めるときには、まずはそれぞれの人が自分で判断することが大切です。そして、それぞれの人の希望が重なったり、意見や判断のちがいが生じた場合には、たがいのことを考えながら折り合いをつけていくことが大切です。

一 森山さんは、【文章】の中の難^{じずか}しい言葉とその意味について、次の【ノート①】にまとめています。

ア · イ

の中に入る内容を、【文章】の中から書きぬきましょう。

【ノート①】



〈難しい言葉〉

〈言葉の意味〉

◇ 選択者

⋮

◇ 選ぶ人のこと

◇ 選択肢

⋮

ア

◇
イ

⋮

たがいにゆずり合って解決すること

二 森山さんは、【文章】の要旨^{ようし}（文章で取り上げている内容の中心や、書き手の考えの中心となる事がら。）を次の【ノート②】にまとめています。

ウ

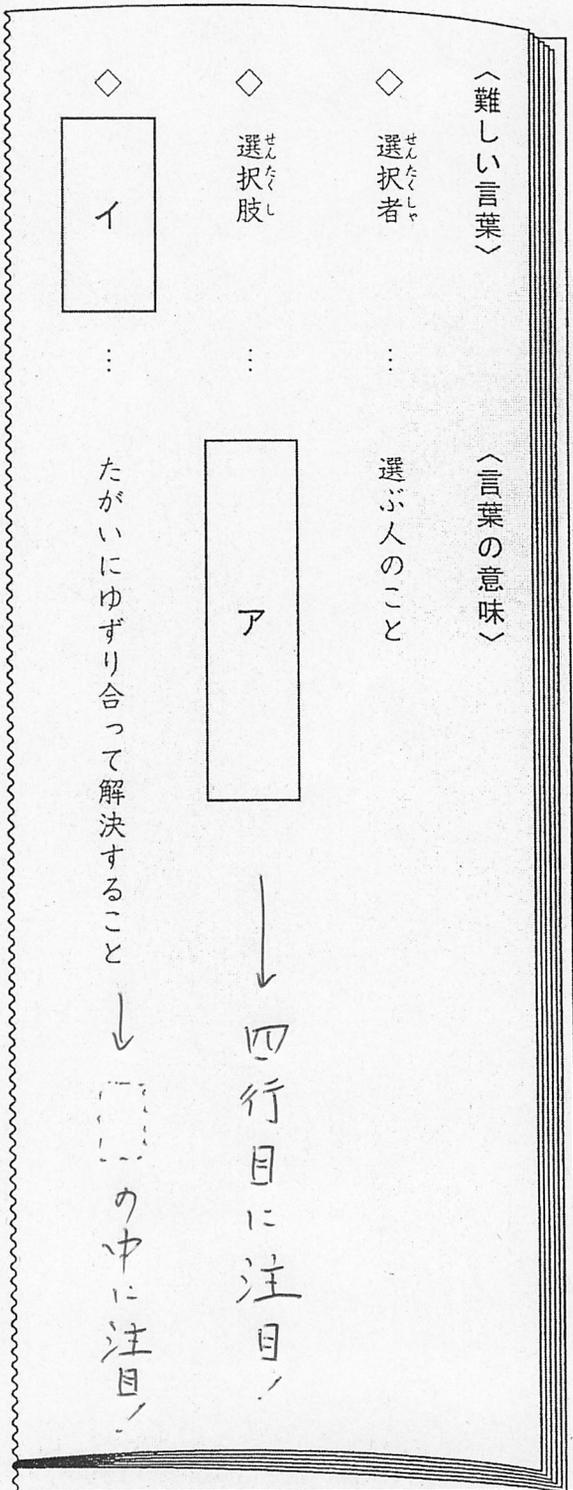
の中に入る内容を、【文章】の中の言葉を使い、六十字以上、百字以内で書きましょう。なお、書き出しの言葉は字数にふくみます。

一 森山さんは、【文章】の中の難しい言葉とその意味について、次の【ノート①】にまとめています。

ア · イ

の中に入る内容を、【文章】の中から書きぬきましょう。

【ノート①】



ア 選ばれるものや人のこと
イ 折り合い

二 森山さんは、【文章】の要旨（文章で取り上げている内容の中心や、書き手の考えの中心となる事から。）を次の【ノート②】にまとめています。
ウ の中に入る内容を、【文章】の中の言葉を使い、六十
字以上、百字以内で書きましょう。なお、書き出しの言葉は字数にふくみます。

【ノート②】

物事を決めるときには、「せんたくしや選択者」と「せんたくし選択肢」があります。このとき、「せんたくし選択者」が一人で、「せんたくし選択肢」が複数の場合や、「せんたくし選択者」が複数で、「せんたくし選択肢」が一つの場合などがあります。

物事を決めるときに大切なことは、

ウ

結論はどの段落に
書かれているでしょうか。
段落にはそれぞれ役割

がありますね。

※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

合	た	な	自	(例)
い	場	っ	分	物
を	合	た	で	事
つ	に	り	判	を
け	は	、	断	決
て	、	意	す	め
い	た	見	る	る
く	が	や	こ	と
こ	い	判	と	き
と	の	断	で	に
で	こ	の	す	大
す	と	ち	。そ	切
	を	が	し	な
	考	い	て	こ
	え	が	、	と
	な	生	希	は
	が	じ	望	ま
	ら	た	が	ま
	折	り	重	ず
	り	し	は	は

100字

60字

(問い)

森山さんのグループでは、「希望者が一人の場合には、その人がその楽器に決まる」ということを確認してあります。グループの五人は、楽器の分担をどのように決めていくことになりそうですか。
【楽器の分担図】をもとにし、次の条件に合わせて説明しましょう。

〈条件〉

- 「リコーダー①」「小だいこ」「木きん」という三つの言葉を使って書くこと。
- 「木きん」の決め方については、「文章」の [] の中で説明している、決めるときに大切なことを取り上げて書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、八十字以上、百字以内で書くこと。なお、「しかし」から始まる書き出しの言葉は字数にふくむ。

※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましよう。
※◆の印から書きましよう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましよう。

い	ん	れ	し	(例)	さん	A	さん	は	希	望	ど	お	り	の	リ	コー	ダー	②	に	、	B	
を	当	た	か	し	さん	さん	も	希	望	ど	お	り	の	オル	ガン	に	決	ま	り	ま	す	。
つ	し	二	希	望	ど	お	り	の	い	き	ま	せ	ん	。	木	き	ん	か	ら	外		
けて	ま	人	ど	お	り	に	い	き	ま	せ	ん	。	木	き	ん	か	ら	外				
決	す	は	、	リ	コー	ダー	①	か	、	小	だい	こ	を	た								
め	。	三	人	が	な	っ	得	す	る	よ	う	に	折	り	合							
て	。	三	人	が	な	っ	得	す	る	よ	う	に	折	り	合							
い	く	必	要	が	あ	り	ま	す	。													
く	必	要	が	あ	り	ま	す	。														
必	要	が	あ	り	ま	す	。															
要	が	あ	り	ま	す	。																
が	あ	り	ま	す	。																	
あ	り	ま	す	。																		
り	ま	す	。																			
ま	す	。																				
す	。																					
。																						

100字 80字

「文章」の「す」

その後考えるのは
書いてから
書かれてる
内容ですね。

	<p>この書き出しの言葉は省略する) 一人しか希望どおりにいきません。木きんから外れた二人は、リコーダー①か、小だいこをたん当します。三人がなっ得するように折り合いをつけて決めていく必要があります。(98字)</p> <p>・木きんに希望が重なっています。ですから、ゆずり合って解決していくことが大切です。一人はリコーダー①に、もう一人は小だいこのたん当に移ってもらうこととなります。(97字)</p>		
1	条件①, ②, ③を満たしているもの	41.6	◎
2	条件①, ②は満たしているが, 条件③は満たしていないもの	1.6	
3	<p>条件①は満たしているが, 条件②は満たしていないもの</p> <p>*条件③を満たしているかどうかは不問とする。</p> <p>(例)</p> <p>○三人とも木きんを選び, 希望が重なっています。だから, 一人はリコーダー①を, もう一人は小だいこをたん当するように決めていくこととなります。</p> <p>(86字)</p> <p>→上記の例は, 「折り合いをつけて決めていく」, または「ゆずり合って解決する」という内容を取り上げて書いていない。</p>	30.3	
4	<p>条件②は満たしているが, 条件①は満たしていないもの</p> <p>*条件③を満たしているかどうかは不問とする。</p> <p>(例)</p> <p>○三人とも希望が重なっています。森永さんのグループでは, それぞれの希望をもとに, 楽器一つに対するたん当者は一人です。ですから, 折り合いをつけて決めていく必要があります。(101字)</p> <p>→上記の例は, 「リコーダー①」「小だいこ」「木きん」という三つの言葉を使って書いていない。</p>	8.0	
9	上記以外の解答	9.7	
0	無回答	8.7	

	<p>合いをつけていく」という内容を取り上げていないが、「それぞれの人が自分で判断する」という内容は取り上げている。</p>			
3	<p>条件①b, ②は満たしているが、条件①aは満たしていないもの (例) ○それぞれの人の希望が重なったり、意見や判断のちがいが生じたりした場合には、互いのことを考えながら折り合いをつけていくことです。(81字) →上記の例は、「それぞれの人が自分で判断する」という内容を取り上げていないが、「たがいのことを考えながら折り合いをつけていく」という内容は取り上げている。</p>	18.8		○
4	<p>条件①a, bの両方を満たしているが、条件②は満たしていないもの</p>	0.2		
5	<p>条件①aは満たしているが、条件①b, ②は満たしていないもの (例) ○それぞれの人が自分で判断することです。(36字) →上記の例は、「たがいのことを考えながら折り合いをつけていく」という内容を取り上げておらず、文字数が60字を超えていない。</p>	1.0		
6	<p>条件①bは満たしているが、条件①a, ②は満たしていないもの (例) ○希望が重なったり、意見や判断のちがいが生じたりしたときに折り合いをつけることです。(58字) →上記の例は、「それぞれの人が自分で判断する」という内容を取り上げておらず、文字数が60字を超えていない。</p>	1.6		
9	<p>上記以外の解答</p>	11.7		
0	<p>無回答</p>	7.0		
三	<p>(正当の条件) 次の条件を満たして解答している。 ①「リコーダー①」「小だいこ」「木きん」という三つの言葉を使っている。 ②【文章】の中で説明している、決めるときに大切なこととして、「折り合いをつけて決めていく」、または「ゆずり合って解決する」という内容を取り上げている。 ③書き出しの言葉に続けて、80字以上、100字以内で書いている。 ~~~~~ (正答例) ・(「しかし、CさんとDさんとEさんは、」以下、</p>			

〔参考〕過去の調査における正答率

問題番号	調査の名称（実施学年）	正答率（％）	
		（左：全国）	（右：長野県）
一ア	平成 27 年度 全国学力・学習状況調査(6 年)	75.5	75.9
一イ	〃	86.0	87.2
二	〃	78.4	80.6
三	〃	41.6	40.0

〔参考〕出題の趣旨

目的に応じ、文章と図とを関係付けて読むことができるかどうかをみる。

〔参考〕解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率(%)	自校の 反応率	正答
		(全国)		
一ア	1 「選ばれるものや人のこと」と解答しているもの	75.5		◎
	9 上記以外の解答	20.9		
	0 無回答	3.6		
一イ	1 「折り合い」と解答しているもの	86.0		◎
	9 上記以外の解答	8.4		
	0 無回答	5.6		
二	(正当の条件) 次の条件を満たして解答している。 ①【文章】の中の以下の内容を使って書いている。 a それぞれの人が自分で判断する b (希望が重なったり、意見や判断のちがいが生じたりした場合には、) 互いのことを考えながら折り合いを付けていく ②書き出しの言葉に続けて、60 字以上、100 字以内で書いている。 ~~~~~ (正答例) ・(「物事を決めるときに大切なことは、」以下、この書き出しの言葉は省略する) まずは自分で判断することです。そして、希望が重なったり、意見や判断のちがいが生じたりした場合には、たがいのことを考えながら折り合いをつけていくことです。(93 字)			
	1 条件① a, b の両方と、条件②, ③を満たしているもの	56.6		◎
	2 条件① a, ②は満たしているが、条件 1 b は満たしていないもの (例) ○「選たく者」であるそれぞれの人が、選ばれるものや人といった「選たくし」の中から、自分で希望して選んだり、判断して決めたりすることです。(84 字) →上記の例は、「たがいのことを考えながら折り	3.0		○